



アクセスみなみ

3月のみなみ市民活動・多文化共生ラウンジは 事業が目白押しです

歩いてさがそう南区の魅力 ガイドデビュー！のお知らせに

定員各コース20名のところ述べ92人応募者が殺到し抽選となりました。まずは3月4日のAコース。「平楽の丘」を巡り、「やぎ坂」を降りてくるコースです。この日は、澄み切った青空のもと、ガイドメンバー5人が担当。参加者の方々5、6人に対し、一人のガイドがつき、丁寧に説明できました。この日のために何度も下見に行き打ち合わせをして、資料を作り、入念な準備がありました。それでもガイドする朝はどきどきしていたようですが、いざ本番では参加者と和やかにそして堂々と説明していました。参加者からは「今後も是非ガイドしてもらいたい、楽しかった。」「もっと参加したい。」という声多数。



Aコース 3月4日(火)
「中村川から平楽の丘を巡る-I」

中村川にかかる水道橋の説明をするガイドと参加者。日本最古の「ピン結合トラス式道路橋」として貴重な橋です。

3月中にはBグループ「お三宮周辺の歴史を探る」
Cグループ「早春の蒔田城跡から宝生寺へ」がこれからガイドデビューします。来年度は自主グループとして活躍が期待されます。

フィリピン台風 緊急支援募金お礼



フィリピン台風(平成25年11月)被災者に対する募金は14,968円になりました。WFP 国連世界食糧計画を通じて被災地復興支援に役立てられます。ご支援ありがとうございました。

多文化事業・・・ヒントがいっぱい詰まった講座

日本語ボランティア講座(2月25日～3月18日、全4回)

現在活動中の日本語ボランティアに向けた【実践編】講座。今年は「楽しく日本語を支援する方法や工夫」「体系的な語彙の学習」「地域日本語教育の現状と課題」というテーマで、日本語支援の現場でボランティアの直面する疑問や課題を、同じ活動をする皆さんで共有し考えました。3回目の神吉宇一先生の公開講座では「ANAたならどうする?」という地域課題を考えるワークショップで、参加された方々が様々な立場になり意見を交わしました。

学習支援ボランティア講座(3月1日～22日)

『みなみラウンジ』と『なかラウンジ』では外国人中学生対象の学習支援教室が行われています。その生徒たちにサポート活動をしたいという方を対象とした講座が行われました。



街の先生事業

街の先生パネル展

中村地区センター

2/21(金)～3/20(木) 3/9(日)には中村地区連合まつりにあわせ、展示・体験・ステージも行われました。

大岡地区センター 3/30(日)～4/22(火)

街の先生研修会

3月25日(火)・・・防災について学んでみよう

家以外で活動する機会の多い街の先生方にとって、防災の知識は不可欠です。施設で地震に出会ったらどうしたらよいかなどを、消防署の方と一緒に考え、クイズなどで楽しく交流しましょう。



やさしいにほんごで「地震ワークショップ」 2月2日開催

みなみラウンジに通う日本語教室の生徒、ボランティアを対象に地震が起きたときの対応・準備を小島佳子氏(県立国際言語アカデミア講師)が映像を使いながら解説しました。約20名が参加し、小グループに分かれてワークショップも行いました。

最後に南消防署々員から「消火器」の使用方法を教わり、実際に「水消火器」を使用して消火器体験も行いました。外国人の参加者の一人は「このようなワークショップには初めて参加した。意外と知らないことが多いことが多いことが分かった」と語っていました。



主催: NPO 法人地球学校

協力: YOKE、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ、南消防署)

CAPおとなワークショップ

(2月12日開催)に参加して

みなみラウンジ登録団体である「特定非営利活動法人CAPかながわ」がワークショップを開催しました。

今回は子どもたちを様々な暴力から守るためにおとなとしてできることを考えるという保護者や地域の人を対象としたワークショップでした。



ロールプレイを使って、暴力にあわなない為に出来る事を考えていきます。大人でもなかなかその暴力から逃れることは難しい

と感じました。それでも、このようなプログラム:術(例えば以下のテクニック)を学んでいれば子どもたちでも暴力から回避することは可能なのです。①知らない人から話しかけられる時は掴まれないような安全な間隔をとる。②蹴るときはすねをねらう。③後ろから捕まれたら足の甲を踏む。小指1本だけつかんで振り払う。④叫ぶときは特別な叫び声(「オーツ」というお腹から出る低い声)をあげる。(キヤーツという高い声は雑沓にかき消されることが多い。)

今回参加者は少なかったのが残念でしたが、子どもたちを危険から守るために大人も子どもも一度は受けたいプログラムでした。

「かみしばい・いっぽ」10周年展

2月8日~11日開催

10周年を記念して「4日間まるまるかみしばい」の日と銘打って、原画と実演ライブがいっぽ旗揚げの場所、南図書館で行われました。1日目はなんと大雪、けれども最初の予定を少しずつ変更しながら4日間無事行い(この天気にもかかわらず延べ203名の来場者)、盛況のうちに幕をとじました。

見学に行った最終日は子どもの手作り紙芝居の日で、子どもたちが実演を行いました。読み手の声の大きさは関係なく、小さい声でもシンとした中で観客は耳をすまし、なぞなぞの紙芝居では、皆が大きな声で答えて一体感にあふれた空間でした。にらめっこの絵を見て笑い出したりする子もいてほほえましく、紙芝居のストーリーの中には笑いもあれば、なるほどと思わせるところもあり、子どもの

洞察力とユニークな発想にびっくりさせられました。紙芝居の奥深さに触れたひとときでした。楽しくてついつい長居をしてしまいました。



ひだまりの森<<支援者向けスキルアップ講座 第5回>>

2月18日開催



今回の講座は「ラベルワークを学んで活動に活かそう!」ということで、ファシリテーターに竹迫和代(参画はぐくみ工房代表)さんを迎え

行われました。

ラベルワークは世代を超えて行える話し合いの手法で、付箋を使って行われることが多いのですが、今回は五感をフルに使って人間ラベルワークをやってみようということに。テーマは「私が届けたい思い」。それを大きな紙に書き、考えの似ている人とグルーピング。そこに中身のわかる表札を付けておきます。互いに議論をしいながら、全体をつなげていく作業に入ります。他の人の話を聞き議論をすることにより、脳が動き視野が広がっていくのだそうです。表札のどこをスタートとするか、矢印はどこへ行くのかなどを決め、模造紙9枚分の大作が出来上がりました(写真)。よく話し、よく動いたワークでした。

★「街の先生」は学校でも活躍しています ★

永田中学は、京急弘明寺駅から徒歩20分ほど歩いた丘の上にあります。永田中学では毎年この時期にわくわくワークという中2対象の進路学習を行っています。内容は「はたらく」ことを深く知る「職場体験」と「学ぶこと」の楽しさを知る「街の先生」を講師とする講座で、生徒は両方のワークに参加します。

「街の先生」とは自分の特技を区民の方々のために役立てたいと、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジに登録しているボランティア講師です。学校から依頼があると、前年度参加された街の先生の反省点や希望も聞き、街の先生をコーディネートし派遣しています。このワークと街の先生のおつきあいは長く、学校に伺うのを楽しみにしている先生が多くいます。

今年も手工芸・お菓子作り・茶道・マナー講習・そば打ち(写真)などバラエティにとんだ15種類の講座が行われました。当日は先生が集合している部屋まで、生徒がお迎えに行くところから始まります。どの先生も大荷物で、今日作る材料だけでなく、生徒たちに「他にこんなこともできるよ」と数々の作品を持ってきて、今後につながる興味のかきかけ作りの機会ともしています。

生徒が飽きないように、琴ではミッキーマウスマーチなどの楽しい曲を練習するなどの工夫がされていました。ヒップホップダンス(写真)は体慣らしから始めたのに、時間内にオリジナルの踊りを完成させ、マジック(写真)もロープでの「結び目づくり」を全員そろって披露。男生徒ばかりの消しゴムはんこではリンクを付けて押すとなかなかの出来栄えに皆満足そうでした。

このワークでの経験は将来にきっと役立つことでしょう。



平成 25 年度区民が企画運営する講座「南区地域人材発掘講座」のご紹介

学びたいことや取り組んでみたいことを地域課題解決につなげ、講座受講後の受講者を自主グループ活動・ボランティア活動・地域活動に導く講座です。区民グループ自らが企画運営する講座で今年度実施した3つの講座を紹介します！
(掲載順位 五十音順)

- 「ウクレレで地域を楽しく」講座は仲間づくりと地域を活性化する活動の楽しむグループづくりのかきかけ講座です。「ウクレレは習いたい、でも活動ってどんなことなの」初回の講座に参加された多くの声でした。「今回の目指す地域活動は皆さんのウクレレの発表会をすることです」の説明に「それなら励みになっていいかも」、みんなの気持ちが同じ方向を向いた瞬間でした。ウクレレ発表も大盛況で、講座終了後は活動グループを結成しました。
(実施期間:H25年10月24日~26年1月23日の木曜日,全11回)
- 「美文字教室」講座は自分のために習いながら、ペン習字でボランティア活動をする仲間づくり講座を実施しました。「きれいな字を書きたい」「今年の年賀状は手書きで挑戦したい」参加者は字の書き順や、字は時間をかけて書くことの大事さを学び、ボランティアについての講義、ボランティア体験を実施しました。講座終了後は「美文字会」を設立して、勉強会と地域活動を行っていくことになりました。
(実施期間:H25年12月6日~26年1月31日の金曜日,全5回)
- 「ママ's CAFE」講座では子育てママによるママにすぐに見える!スキルUPや仲間づくり、地域活動について考える講座を実施しました。「自分自身を充実させることが大切で子育てに影響することを実感しました」「学びながらいろんな人との出会いが良い刺激になって、何か始めたいと思いました」講座での出会いが良い仲間づくりにつながってカタチにするために定期的な会を実施することになりました。
(実施期間:H25年10月3日~11月28日の木曜日,全6回)



ウクレレで地域を楽しく



美文字教室



ママ's CAFE

「地域人材発掘講座」は、南区役所から「区民等で構成される運営委員会」へ講座の企画・運営委託をする事業です。



市民活動登録団体紹介

NPO 法人 在日外国人教育生活相談センター・信愛塾

Tel & fax 045-252-7862

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~k13sin19/>

在日外国人と日本人との学びとふれあいの交流スペース

【目的】

NPO 法人 在日外国人教育生活相談センター・信愛塾は「日本に居住する外国人に対して、教育生活相談や学力・進路保障などに関する事業を行い、在日外国人との共生社会実現に寄与することを目的」とすることを定款に掲げ日々の活動を行っています。

【団体結成の経緯】

行政から就学通知が届かないことに不安を抱いた在日韓国人の母親が「この子をどこの学校に入れたらよいのですか？」と訴えました(1978年)。教育委員会との話し合いの末、初めて外国人の子どもにも就学案内が出るようになりました。このことを契機に在日外国人の子どもたちが「自分を隠すことなく生きられるように」、そして、「基礎学力を身につけられるように」と、信愛塾が開設されました。以降、信愛塾を拠点に在日外国人と共に生きる社会をめざして地域での実践活動が繰り広げられてきました。時代の変遷とともに信愛塾に通ってくる子どもたちも大きく変わってきました。中国やフィリピンなどのアジアの近隣国からやってくる子どもたちも増えてきました。やがて、そうした子どもたちが安心して学び続けられるよう相談活動も担うようになりました。2004年にはNPO法人を取得し在日外国人教育生活相談センター・信愛塾と名称も改めました。

【活動内容】

主な活動には、○在日外国人のための教育・生活・人権等に関する相談 ○在日外国人子どもたちの「居場所」○学力保障を目的とした補習教室(新渡日の子どもたちが増えているため、日本語学習や、学習内容の理解を進めるための母語の使用や母語保障にも力を入れています) ○差別や偏見をなくし、共に生きる社会をめざす啓発・研修や学習会・講演会 ○サマーキャンプ・ハイキング・クリスマス会・スポーツ会などの子ども会などがあります。



「信愛塾35周年記念の集い」で手話付きの歌を披露する子ども



「みんなでポーズ」



「遠足:三浦半島観音崎にて」

【今後の課題と夢】 今後の課題は、増え続ける在日外国人の需要に添えていけるよう、子どもたちの「居場所」と活動スペースを確保し維持していくことです。そのためにも財政基盤の確立が求められています。さらに外国人に対する差別や偏見や「いじめ」などをなくしていくためにも信愛塾のような「場」がもっといろいろな地域に作られていくことが必要です。このような「場」を作っていくには行政や地域社会との協働なくてはあり得ません。ここで育った子どもたちは母国と日本を繋ぐ虹の架け橋となって活躍してくれるでしょう。「共に生きる」社会の実現は地域社会をさらに豊かなものにしてけると確信しています。

<お知らせ>

『アクセスみなみ』に活動紹介や仲間募集を掲載しませんか？

利用登録団体は、各団体が行っている市民向け講座やイベント、活動などをPRすることができます。

次回原稿〆切 5月中旬(6月発行)



みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

〒232-0024 南区浦舟町3丁目46番地 浦舟複合福祉施設10階

TEL 045- 232-9544、045-242-0888(外国語対応)

FAX 045-242-0897

<http://tabunka.minamilounge.com/>



時間: 午前9時～午後5時

相談言語: 日本語・中国語(毎日)、英語(水)、タイ語(木)、タガログ(金)

休館日: 第3月曜日 および年末年始(12/29～1/3)

